

JAPIC NEWS

October
2020
No.437

10

contents

■ 巻頭言

支え愛

特定非営利活動法人 ふじみ野明るい社会づくりの会 代表理事 北沢 紀史夫 2

■ インフォメーション

10月末発売!

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2020年10月版」 4

「日本の新薬-新薬承認審査報告書集-」98~104巻 5

製薬協書籍 発刊のご案内

「医療用医薬品添付文書」作成の手引き

-平成29年記載要領対応-令和2年8月 6

■ トピックス

JAPICサービスの紹介 -医薬品情報に関するデータベース-

② iyakuSearch/iyakuSearch Plus (医薬品情報データベース)

②学会演題情報 7

■ コラム

臨床試験情報:JapicCTI(Japic Clinical Trials Information)から

~新型コロナウイルス関連情報~

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 酒井 彩美 8

くすりの散歩道No.139「持ち歩きできる日陰」

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 照沼 憂哉 9

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より-(抜粋) 10

■ 図書館だより No.363 11

■ 情報提供一覧 11

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

支え愛

特定非営利活動法人 ふじみ野明るい社会づくりの会
代表理事

北沢 紀史夫 *Kitazawa Kishio*



はじめに

「ふじみ野市支え愛センター」は、ちょっとした手助けが必要な市民を、1時間300円でボランティアが手助けする事業に取り組んでいます。依頼は、車での通院や部屋の掃除、買い物、草取り、話し相手などで、合言葉は「あなたのいい顔見たい」です。毎日30人前後からの依頼があります。100人いるボランティアや2800人いる利用者のほとんどが70歳以上で、高齢者同士が互いに支え合うことで元気になっています。このことを念頭に健康について考えてみたいと思います。

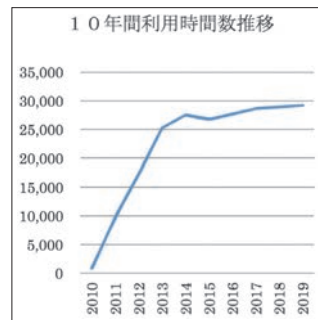
あなたのいい顔見たい

若い父親が、支え愛センターに5歳前後の息子を連れて来ました。「目が不自由で身重の妻が、駅のプラットフォームから線路に転落し入院してしまったため、息子を近くの保育所までしばらく毎朝付き添って欲しい」と依頼がありました。2か月間ほど付き添ったボランティアは、「その子は、このまえ道端のお地藏さんに手を合わせ、私が幸せになるように祈ってくれた。大変な境遇にあるその子のために祈ってあげなければならないのに、逆に祈ってくれた」と言って涙ぐんでいました。私たちの思いが、その子に伝わったのでしょうか、胸に迫りました。

1時間300円

当会の高齢者の会員にアンケート調査で困りごとを聞いたところ、「病院に行くのに不自由している」、「部屋や庭の掃除が出来ない」といった回答が多くありました。同じころ、埼玉県から「地域支え合い事業」の要請を受けました。かつて当会が開催した食事会で、参加費300円の中に聖徳太子の100円札が混ざっていたことがあり「ずっと使わずにいた、なけなしのお金だったのでは」と切なく思ったことがあります。一方、ただほど高いものもないので利用料金は1時間300円にしました。その利用料金の一部で商品券を購入し、ボランティアに謝礼として250円分を進呈し、差額の50円を事務費にあてています。介護保険では、付添や窓・玄関・庭の掃除は対象外

ですが、「支え愛センター」にお願いすれば、1時間300円で手伝ってもらえるため、利用者から大変喜ばれています。また、ふじみ野市からは「支え愛センターのおかげで、介護給付金の支払いが少なくなり、介護保険料を6年間据え置くことが出来た」と感謝されています。



新しいことへの挑戦

依頼の約7割は、車での病院への付添です。新しい試みでした。県の担当者からは「車での付添は私の在任中はやらないでください」と言われましたが、自分たちのやり方にこだわりました。そうこうしているうちに、国土交通省からNPOが高齢者を病院などに付き添う場合には法律の解釈を緩和する趣旨の通達が発出されました。かつて、上司から「新しい仕事をするときには結果を恐れるな。結果が分かっていたら面白くない」と言われたことが役立ちました。

融通が利く支え愛センター

その他の依頼で多いのは、掃除や買い物です。これまで、介護保険の対象とならない付添や買い物などの生活支援を行ってきました。しかし、昨年度から、介護保険で担われていたヘルパーによる家事支援については、NPOで担えるようになり、ふじみ野市から家事支援を委託されました。「介護保険を利用すると融通が利かないが、支え愛センターは柔軟に対応してくれるので助かる」と利用者により難がられています。

ボランティア活動に大学の「単位」

デイサービスの現状について、「安全性や経営効率を求めるあまり通所者のメニューが画一的になり結果的に自立性を妨げて、元気な人も病気にしている」という悩みをデイサービスの所長さんから伺っていました。自由に伸び伸びできるデイサービスの必要性を感じていた時に、大学生から「人生百年時代を迎えると、介護保険制度では支えきれないので世代間交流で支えたい」との話がありました。そこで、若者と交流しながら一日を楽しく過ごせるデイサービスの事業を始めました。目的は、高齢者が自分で考え、できることは自分です、従来のデイサービスのような拘束から解放されることです。一人暮らしの高齢者は「皆と一緒にご飯を食べて、遊んで楽しかった」と喜び、共に時間を過ごした学生は「回を重ねるごとに元気になり、進歩するのですね」と高齢者とのふれあいを通して、高齢化社会のあり方や自分の将来などの学びにつながっているようです。

学生から活動報告を聞いた理事長は「欧米の資本主義は、神と人との関係で成り立っている。日本の資本主義はお互い様、支え合いで成り立っている。君たちは気づいているかどうか分からないが、本質的なことをやっている。渋沢栄一の合本主義の考えに、人の支え合いによる資本主義が良く現れている」と仰っていた。ふじみ野市にキャンパスがある文京学院大学では、当会のボランティア活動に参加する学生に対して、「単位」を与えることとなりました。

「支え愛」の普及

当会の活動は、NHK「おはよう日本」、民放テレビ6局、三大新聞、東京新聞、雑誌「まちむら」などで紹介され、全国各地から視察があり、仙台市の「仙台支え愛サポートセンター」、品川区の「支え愛・ほっとステーション」及びNPO法人協働まちづくり「みんなで助け愛」が誕生しました。しかし想像しているほど普及しません。そこで、映画プロデューサーで文京学院大学教授の協力を得て「支え愛」を世間に訴えるために映像コンテンツを制作中です。

百薬の長

介護の日に因んで文京学院大学で開催された“介護の学校in 埼玉”で講義を依頼されました。そのため、心や体の変化等に関する項目についてボランティアの半数の52人に各々5分間程度のインタビュー調査を行い、その調査結果等も踏まえ、ボランティア活動は要介護状態になるのを未然に防ぎ、できるだけ要介護状態になることを遅らせることに役立つといった内容のお話をしました。

【インタビュー調査(概要)】

- (1) 満足感については、
- ・この年になっても毎日行く場所や用事があり体を動かすことで健康も保てる。
 - ・商品券で米と肉が買え助かっている。
 - ・多くの人との出会いで視野が広がった。

- (2) 心の変化については、
- ・人に喜んでもらえ、頼られ、嬉しい、ありがとうと言われると元気になる。
 - ・ストレスが無くなった。
 - ・元気なうちに他人を支え、弱ったときに自分が支えてもらえるという安心感がある。
- (3) 体の変化については、
- ・各種行事の責任を任せられ健康に気を付けるようになった。
 - ・以前は年数回風邪を引いていたがこの数年は風邪を引かなくなった。
 - ・薬の量が少なくなった。
- (4) 10年続いた理由について
- ・家族の理解がある。
 - ・高齢者がぞんざいに扱われている。
 - ・自分が老いた時の体制を若いうちに作らなければならない。
 - ・理屈やお金ではなく、愛情がある限り続く。
 - ・利用者の感謝の心が、ボランティアの力になる。
 - ・行くと喜んでくれるので体が動ける間は続けたい。
 - ・一人の力はたいしたことはないが、みんなが協力すると大きな力になる。
 - ・満足感や充足感が得られる。
 - ・事務所の家賃を市が負担してくれている。
 - ・年金生活者等は1時間300円で利用でき、ボランティアにとっては謝礼が生活の足しになり、双方にとってウィンウィンの関係である。
 - ・高齢化社会におけるリタイア組の受け皿になっている。

まとめ

支え愛センターを始める時に、東大の先生から「支え愛の活動は、財政的、理論的裏付けがないので打ち上げ花火のように長続きしない」と言われました。しかし、10年間続いています。

企業は、事業を始めるときには利益を考えます。当会は、喜んでもらうことしか考えないで始めましたが、毎年100人以上の寄付に加え、ふじみ野市からは「これまでの事務所の家賃の他に経費の補助も可能」との助言もいただいています。長屋の「おせっかいばあさん」のようなことは、行政のちょっとした公助と、年金生活者は出来る範囲で負担する自動と、高齢者も元気なうちは手を貸す共助の取り組みは、事業化が可能となりました。

2か月間のコロナ自粛後再開したところ、ボランティアのほぼ全員が戻ってきてくれました。地に根が張っていました。コロナは、忘れられかけていた「人の役に立ちたい。受けるより与える方が幸い」ということを知らしめてくれました。

ボランティア活動は、困っている人の手助けですが、助ける側にとっても人の役に立つことで得難い満足感や達成感が味わえます。「あなたのいい顔みたい」は、人の喜びが自分の幸福になり、ハッピーホルモンが出て、百薬の長だと思えます。こういった「支え愛」がもっともっと普及することを願ってやみません。

10月末発売!

JAPIC「医療用・一般用医薬品集インストール版2020年10月版」

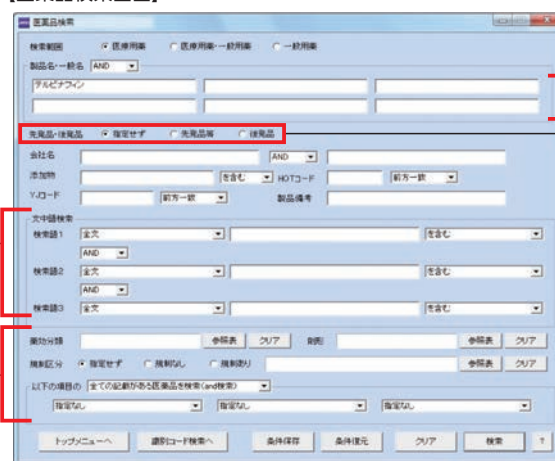
- ◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報を収録したWindows対応CD-ROM。
(医療用は2020年10月、一般用は2020年9月までのJAPIC入手分を収録)
- ◇製品情報、医薬品集本文データの検索・表示・印刷・データ出力が可能。
データ出力形式は、タブ区切り／カンマ区切りテキスト(csv)から選択できます。
- ◇薬価、先発品等／後発品情報、規制区分、剤形、添加物、
薬剤識別コード情報なども収録し、さまざまな角度から検索できます。
- ◇完全インストール仕様により、スピーディな検索・結果表示を実現。
インターネット環境のない薬剤モニタリング業務などにも最適です。
- ◇インターネット経由で、最新の添付文書PDFの表示も可能です。
(医療用:週1回更新、一般用:月1回更新)



医薬品をあらゆる条件で検索

製品名・一般名、識別コード※、先発品等／後発品の区別※、添加物、医薬品集本文の文中語、薬効分類、剤形、規制区分などからの検索が可能です。

【医薬品検索画面】



医薬品集本文に含まれる文中語の指定
(例:相互作用にメキサジンを含まない、等)

薬効分類、剤形、規制区分などの指定

医薬品名の指定
(6つまでOK)

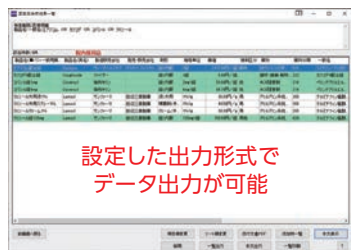
先発品等・後発品の指定

※:医療用薬のみの機能

データ出力は2種類の形式から選択可能

例) 検索した製品の一覧をデータ出力する場合

【医薬品検索結果一覧画面】



<タブ区切りテキスト形式>

```
院内採用状況 製品名 (■/◇)
院内採用品 エブジコム配合錠
院内採用品 カフコデN配合錠
院内採用品 コバシル錠2mg
院内採用品 コバシル錠4mg
ラミシール外用液1%
ラミシール外用スプレー1%
ラミシールクリーム1%
院内採用品 ラミシール錠125mg
```

<カンマ区切りテキスト(csv)形式>

```
"院内採用状況","製品名 (■/◇)"
"院内採用品","エブジコム配合錠"
"院内採用品","カフコデN配合錠"
"院内採用品","コバシル錠2mg"
"院内採用品","コバシル錠4mg"
"ラミシール外用液1%"
"ラミシール外用スプレー1%"
"ラミシールクリーム1%"
"院内採用品","ラミシール錠125mg"
```

- ◆価格: 単回13,000円(+税)
年間セット4枚(10月・1月・4月・7月) 23,806円(+税)

【お問合せ先】

事務局 渉外担当 (TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

「日本の新薬－新薬承認審査報告書集－」98～104巻

承認された新医薬品（新有効成分・新医療用配合剤・新投与経路・新剤形など）の審査報告書を掲載！！

我が国の新医薬品は厚生労働大臣の名のもとに製造販売の承認がされます。その承認は、新薬承認審査報告書（以下審査報告書）に基づいて、薬事・食品衛生審議会の審議を経て行われますが、当該医薬品の審査経過、評価結果等を取りまとめ、「審査報告書」および「審議結果報告書」が作成されます。「審査報告書」は独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下PMDA）が、「審議結果報告書」は厚生労働省が作成し、承認後は承認取得者（企業）が作成した「申請資料概要」とともにPMDAホームページ上で公開されています。

「日本の新薬－新薬承認審査報告書集－」は、旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター（1997年7月～2002年3月）およびPMDA（2002年4月～）で行われた新医薬品の承認審査の報告書をまとめて編集したものです。各巻とも訂正のある報告書については、本文中に修正前と修正後がわかるように編集しています。今回、2019年1月～12月にPMDAから公表された審査報告書（審議結果報告書を含む）79品目を承認月順に収載し、98巻から104巻の7分冊にまとめて発刊いたします。

審査報告書は少なくとも新薬の承認時において、批判的判断が加わった最も信頼のおける資料です。本書を今後の新医薬品の開発の計画と実行、薬事対応に役立てていただければ幸いです。

また、臨床試験における副作用に対する考え方や判断のポイントなど、添付文書やインタビューフォームには記載のない情報もあり、市販後調査部門や医療機関においても重要な情報（判断を伴った）が満載です。さらに、医薬品にはどのような試験が必要か、その手順など、医学・薬学教育においても参考にしていただけるものと確信しております。

なお、簡単な操作で検索・閲覧ができるデータベースとして、「日本の新薬－新薬承認審査報告書DB－」をJAPICの医薬品情報データベース*syakuSearch*上で公開しております。冊子体とともに、是非ご利用ください。

◆価格：各巻 ¥22,000（+税）・B5判

7巻セット（98～104巻） ¥77,000（+税）

※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております。

〔お問合せ先〕

事務局 渉外担当（TEL：0120-181-276、FAX：0120-181-461）



製薬協書籍 発刊のご案内

「医療用医薬品添付文書」作成の手引き－平成29年記載要領対応－令和2年8月

〈概 要〉

この度、「医療用医薬品の添付文書等の記載要領について」（平成29年6月8日付け薬生発0608第1号厚生労働省医薬・生活衛生局長通知）及び「医療用医薬品の添付文書等の記載要領の留意事項について」（平成29年6月8日付け薬生安発0608第1号厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長通知）、「ワクチン類等の添付文書等の記載要領について」（平成29年12月27日付け薬生発1227第7号厚生労働省医薬・生活衛生局長通知）及び「ワクチン類等の添付文書等の記載要領の留意事項について」（平成29年12月27日付け薬生安発1227第11号）（以下これらを合わせて「平成29年記載要領」という）に伴い、「『医療用医薬品添付文書』作成の手引き－平成29年記載要領対応－令和2年8月」を発行することとなりました。

本書には、新たな記載要領への対応の準備を円滑に行うためのツールとして、上述の通知のほか、厚生労働省医薬・生活衛生局、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、及び日本製薬団体連合会安全性委員会からそれぞれ発出された複数のQ&Aに対応した記載事例及び各項における留意点を「解説」として掲載しております。平成29年記載要領対応の添付文書作成にご活用いただければ幸いです。

〈仕 様〉

◆名 称：「医療用医薬品添付文書」作成の手引き－平成29年記載要領対応－令和2年8月

◆編 集：日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 ファーマコビジランス部会

◆サイズ：218ページ A4判（CD-ROM付）

◆発行年月：2020年8月

◆本体価格：製薬協会員 3,800円、一般 5,800円

（※ JAPIC会員とは異なりますので、ご注意ください）

◆注文方法：JAPIC HPのトップページ右下部にある「製薬協 書籍申込み」のバナーを押下した後に表示される「製薬協書籍購入申込みフォーム」よりご注文ください。

※JAPICでは製薬協からの受託業務として、製薬協各委員会等が編集する書籍の発行及び販売を行っております。

— 医薬品情報に関するデータベース —

2 iyakuSearch/iyakuSearch Plus (医薬品情報データベース) ※各コンテンツを順次ご紹介します。

② 学会演題情報 毎月更新

国内で開催される医学・薬学関連学会から医薬品に関する情報を収録しています。

- 1993年以降の国内開催の医学・薬学関連学会（地方会を含む）で発表された演題・抄録約145万件による、医薬品の品質、有効性及び安全性に関する情報を提供します。
- 書誌の事項（演題、演者・研究者名・所属機関、学会名）がご覧いただけます。

● 情報源

国内開催の医学・薬学関連学会（地方会を含む）で発表された演題・抄録（JAPICで入手した学会予稿集・プログラム及び医薬文献情報採択対象約480誌に掲載された学会報告）（現在約145万件を収録、月約6,000件・年間延べ約5,000学会・約78,000件のデータを新規追加）

● 検索項目

医薬品名、演者・研究者名、所属機関、学会名

学会演題情報検索画面（無料）



学会演題情報検索結果画面



学会演題情報プラス iyakuSearch Plus 毎月更新 要ユーザ登録・有料

iyakuSearchでご提供している情報に加えて、さらに詳細な情報が利用可能です。

- 書誌の事項：演題、演者・研究者名・所属機関、学会名、開催年月日、収録した雑誌名等
- キーワード：医薬品名（一般名、会社名、薬効分類）、副作用症状名等
- 検索は、書誌の事項・キーワードから全文検索が可能

学会演題情報プラス検索結果画面

受入番号	G 201949283
演題	P-21-4 スチロイド 糖質 経口薬 がらたごころ心臓を望む一歩
著者名・所属	中山 雅典(奈良県立総合医療センター-10階特別室) 上林 昌昭(奈良県立総合医療センター-種原内分科内科) 上林 昌昭, 尾山 雅文, 加藤 聖博, 元川 誠典, 高 仁志, 久保 幸祐, 近本 都那, 相澤 洋祐, 水松 晋作, 松尾 美純, 中野 榮也, 藤津 典英(奈良県立総合医療センター-消化器内科), 中村 康也, 尾山 雅文, 松山 武昭(奈良県立総合医療センター-救命救急センター)
学会名	第19回臨牀内分科代議Update(2019.11.29.3日/高知県高知市)
雑誌名	// 95(2)744(2019.10.20)
医薬品名 一般名	prednisolone (プレドニゾロン), prednisolone (プレドニゾロン), (245) 副腎ホルモノリ (副腎皮質ホルモノリ)
会社名	glucose (グルコース, フドウ糖), [glucose (グルコース, フドウ糖)], (293) 糖類
薬効 (薬効補足)	hydrocortisone (ヒドロコルチゾン), hydrocortisone (ヒドロコルチゾン), (245) 副腎ホルモノリ (副腎皮質ホルモノリ)
副作用	心臓症 (たごころ臓器心臓症, タンゴ臓器心臓症) prednisolone, 副腎不全 (スチロイド-糖質 経口薬, 副腎皮質ホルモノ下症) [prednisolone]
学会演題キーワード	ADVERSE, 副作用, 安全性

臨床試験情報:

JapicCTI (Japic Clinical Trials Information) から

～新型コロナウイルス関連情報～

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当

酒井 彩美 *Sakai Ayami*

JAPICは医薬品等に関する臨床試験情報を収録したデータベース (JapicCTI: Japic Clinical Trials Information) を運営しております。

JapicCTIは、臨床試験 (治験および非治験) に関する情報公開を目的として2005年7月より開始され、主に日本の企業治験の情報が登録されております。試験情報については、2000年代に透明性の確保や被験者保護の観点から、国際的に公開の必要性について認識されるようになり、JapicCTIはその流れで日本の臨床試験を登録する機関として発足いたしました。

登録される情報は、試験デザインや評価項目のみでなく、適格基準・除外基準や被験者募集状況など患者様が治験の参加を検討する際に有益な情報も含まれます。また、試験終了後には試験結果 (症例数、被験者の背景情報、評価項目の解析結果、有害事象等) についても登録されます。

JapicCTIに登録された情報は、WHOの国際的臨床試験登録プラットフォーム (WHO ICTRP: International Clinical Trials Registry Platform) でも公開されております。

現在、新型コロナウイルスのワクチンや治療薬は世界中で注目されております。

JapicCTIにも新型コロナウイルス治療薬の臨床試験情報が登録されており、閲覧いただけます。

新型コロナウイルスに関連する臨床試験は、試験名 (「試験の名称/scientific title」および「簡易な試験の名称/public title」) に「COVID-19」を含めて登録されておりますので、「COVID-19」をキーワードとして検索して下さい。

新型コロナウイルスの治療薬 (治療方法) の臨床試験情報は、最初のデータが2020年3月31日に登録されてから、2020年8月末時点で計12件登録されております。その内訳は医薬品10件、再生医療等製品2件です。いずれも日本で実施されている臨床試験の情報になります。

JapicCTIの情報には「試験の現状/study status」 (「実施中」「試験完了」等) が含まれておりますので、開発の進捗状況も把握できます。試験情報は登録後も必要に応じて更新され、2020年8月末時点で更新回数は15回 (登録臨床試験12件のうち更新があった10件の合計) となっております。

<COVID-19に関する各月の臨床試験新規登録件数および更新回数>

年月	新規登録件数 (件)	更新回数 (回)
2020年3月	1	0
2020年4月	4	0
2020年5月	0	1
2020年6月	3	4
2020年7月	1	5
2020年8月	3	5
計	12	15

JapicCTIはこちらから <https://www.clinicaltrials.jp/cti-user/common/Top.jsp>

*JapicCTIはJAPICのHP (<https://www.japic.or.jp>) および
iyakuSearch (<https://database.japic.or.jp/>) の「臨床試験情報」からもアクセスできます

くすりの散歩道

no.139

持ち歩きできる日陰

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当

照沼 憂哉 Terunuma Yuya



ようやく暑さも収まってきたかと思われませんが、今年の夏も暑かったですね。静岡県浜松市では8月17日に41.1℃を観測し、全国観測値ランキング1位に並ぶ記録だったようです。加えてCOVID-19流行の影響で外出時はマスクが必須、例年に比べより一層熱中症のリスクに注意しなければならない夏、という印象でした。

熱中症対策として、猛暑の日は外出を控える、こまめに水分を摂取するなど、様々な対策がなされているかと思いますが、私はこの夏、日傘をはじめました。実際に購入しようといざ店頭に向かうと、たくさんの日傘がずらずらと並び何が何やら。インスピレーションに任せて選ぶかとも思いましたが決めきれず、一度調べてみることにしました。

デザインに特色があるもの、サイズ・重さ等を調節し携帯性に優れるもの、強度を高めたもの等色々あるようですが、今回は日傘に用いられている生地「性能」に着目してみました。

日傘の使い道としてまず挙げられるのが「日焼けを防ぐ」でしょう。これを数値化したデータが「紫外線遮蔽率(%)」になります。その名の通り紫外線を防ぐ効果を示しており、数値が大きいほど紫外線の影響を受けにくいことになります。また、「UPF(紫外線防護係数)」も紫外線を防ぐ効果の1つの指標です。紫外線対策をしていない場合の皮膚への影響と、生地により紫外線対策した場合の皮膚への影響の比を表します。UPF15~50まで5刻みの表示となり、UPF50を超えるものはUPF50+と表されます。

具体的な試験方法の話ですが、一般財団法人カケンテストセンターではJIS法と日本化学繊維協会法との2種類の試験を行っています。照射光の波長はUVA~UVBにあたる波長(それぞれ290~400nm、280~400nm)となっており、地上に届かないUVCにあたる波長は照射しないようです。測定した透過率から紫外線遮蔽率(%)を算出します。UPFはこの紫外線遮蔽性の結果に皮膚の感度等を係数に加えて算出されています。

続いて、「日除け」に関する項目として、「遮光率(%)」があります。こちらは生地に照射した光の透過のしにくさを表しており、紫外線遮蔽率と同様に数値が大きいほど光を透過しにくい素材であることが分かります。日本洋傘振興協議会(JUPA)では遮光率が99%以上の生地を使用した商品を遮光傘、99.99%以上の生地を使用したものを1級遮光傘と呼び、どちらも商品ラベルやタグ等にその呼称や遮光マークを表示することが可能だそうです。

試験方法としては、遮光性試験(JIS L 1055)があります。一般照明用ハロゲン電球を用い、試験片を装着したときと装着していないときの照度の差を測定し、遮光率(%)を算出します。

加えて、「遮熱性」を表示している日傘も見られました。遮熱率(%)と区分記号の2種類の表記があり、区分記号は遮熱率を分類したのになります。遮熱率が15%以上25%未満のものは「S15」、遮熱率25%以上35%未満のものは「S25」というように10刻みの表記になり、最大値は遮熱率65%以上、区分記号S65+と表示されます。

試験は遮熱性試験(JIS L 1951)が該当します。人工太陽光源を用いて30分間照射し、試料を透過した日射の熱(放射熱)を熱線受光体に吸収させます。試料を装着した熱線受光体と装着していない熱線受光体の上昇温度をそれぞれ測定し、遮熱率(%)を測定します。

以上、「紫外線遮蔽性」、「遮光性」、「遮熱性」パラメータについてご紹介しました。日傘を検討している方への一助となれば幸いです。とはいえこだわりすぎて決めきれないのは元も子もないので、まずは1本購入してみましょう。差だけで顔回りの熱の上昇を段違いに抑えてくれますよ。

夏を快適に過ごすための対策として、日傘という選択肢を増やしてみたいかがでしょうか。

<参考資料>

・一般財団法人カケンテストセンター：<https://www.kaken.or.jp/>

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2020年8月1日～8月31日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.763-766) の記事から抜粋

■米FDA

- Essureで報告された問題
<<https://www.fda.gov/medical-devices/essure-permanent-birth-control/problems-reported-essure>>
- 米FDA, 乳房インプラント疾患および乳房インプラント関連リンパ腫のMedical Device Reportsの分析を更新
<<https://www.fda.gov/news-events/press-announcements/fda-updates-analysis-medical-device-reports-breast-implant-illness-and-breast-implant-associated>>

■米CDC

- Notes from the Field: 重篤な高体温症の労働者におけるamphetamineの使用－8つの州, 2010年～2019年
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/69/wr/mm6930a5.htm?s_cid=mm6930a5_w>
- Notes from the Field: 経粘膜投与のbuprenorphine製品の注射による合併症に関する救急受診－米国, 2016～2018年
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/69/wr/mm6932a5.htm?s_cid=mm6932a5_w>

■Health Canada

- codeine含有非処方箋鎮痛製品は, 18歳未満のヒトに対し使用してはならない
<<https://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2020/73635a-eng.php>>

■EU・EMA

- CMDhの科学的結論と変更の根拠, 製品情報の改訂, および実施のためのタイムテーブルについて: opium
<https://www.ema.europa.eu/documents/psusa/opium-cmdh-scientific-conclusions-grounds-variation-amendments-product-information-timetable/00010670/201909_en.pdf>
- CMDhの科学的結論と変更の根拠, 製品情報の改訂, および実施のためのタイムテーブルについて: lenograstim
<https://www.ema.europa.eu/en/documents/psusa/lenograstim-cmdh-scientific-conclusions-grounds-variation-amendments-product-information-timetable/00001839/201910_en.pdf>

■英MHRA

- 布の上で乾燥させたスキンクリームは, 発火による死亡の原因となる可能性がある
<<https://www.gov.uk/government/news/skin-creams-dried-on-fabric-can-lead-to-fire-deaths>>
- 全身投与用VEGF経路阻害剤: 動脈瘤および動脈解離のリスク
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/systemically-administered-vegf-pathway-inhibitors-risk-of-aneurysm-and-artery-dissection>>

■豪TGA

- 研究により, ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの安全性が確認される
<<https://www.tga.gov.au/alert/study-affirms-safety-human-papillomavirus-hpv-vaccine>>

■医薬品医療機器総合機構

- ヒトパピローマウイルス感染症予防に用いられる組換え沈降9価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン (酵母由来) (シルガード9水性懸濁筋注シリンジ) の接種における留意事項について
<<https://www.pmda.go.jp/files/000235776.pdf>>

■厚生労働省

- 植込み型補助人工心臓の機能停止による患者死亡事例について (販売名: 植込み型補助人工心臓EVAHEART)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12767.html>

JAPIC事業部門 医薬文献情報 (海外) 担当

記事詳細およびその他の記事については, JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は, 事務局 渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版者	出版年月
Martindale: The Complete Drug Reference 40th ed.	Robert Buckingham Ed.	Pharmaceutical Press (GBR)	2020年5月
医薬品・医薬部外品製造販売業者等における コンピュータ化システム適正管理ガイドライン入門 第4版 -よくわかるCSVとデータインテグリティ-	蛭田 修	株式会社じほう	2020年6月

情報提供一覧

2020年9月1日～9月30日提供

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合はJAPIC 事務局 渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2021年8月分 (HP定期更新情報掲載)	9月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用医薬品集 2021」	9月 4日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. JAPIC 「一般用医薬品集 2021」	9月 4日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
4. 「JAPIC NEWS」 No.437 2020年10月号	9月30日	4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		5. 臨床試験情報	随 時
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1248-1251	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	7. 学会開催情報	月 2 回
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	8. 医薬品類似名称検索	随 時
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する 措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」 No.4688-4708	毎 日	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
6. 「JAPIC Weekly News」 No.767-770	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」 No.865-869	毎 週	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>

医療用 医薬品集 2021



赤ジャピ45年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

好評発売中!



本書の特長

- ◆2020年6月後発品まで収録
- ◆約45年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします!
- ◆「薬剤識別コード一覧」を収録
- ◆更新情報メールの無料提供(要登録)
- ◆CD-ROM付
- ◆分冊にて製作(ケース入り)

Windows版

CD-ROM収録内容

- 医療用医薬品集
- 一般用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 薬価情報
- 後発品の全情報
- 添加物情報
- 最新添付文書画像(PDF)の表示機能付

要インターネット接続。医療用医薬品は週1回、一般用医薬品は月1回更新

13,000円(+税) B5判 約4,400頁(本文)

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

はくちょうげ

「白丁花」と書く。学名: *Serissa japonica* (Thunb.) Thunb.
英語名: snowrose. あかね科はくちょうげ属。常緑低木。中国、台湾原産、江戸時代・元禄時代の頃に移入。生垣や庭木に植栽されている。花期は5月~7月、秋にも咲く。茎の頂部に白ないし淡紅紫色の花を付ける。hexahydrofurofuran誘導体の Pinorelinol (α -glucosidase阻害活性) 等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。